

審査基準

以下の各項目の評価内容に基づき、各項目の配点の合計を100点満点として採点し、各審査委員の採点数の合計により算出する。

審査項目及び評価内容	配点
1 妥当性	80点
(1) 高校コーディネーターに係るデータベースの作成（仕様書6（1））	15点
・ 高校コーディネーターの職務実施に必要な資質能力を整理し、職務要件表を作成することとともに、高校コーディネーターの実践内容やノウハウ等について情報を収集し、高校コーディネーターに係るデータベースの作成について、効果的かつ具体的な提案があるか。	15点
(2) 県内高校コーディネーターのネットワークの構築（仕様書6（2））	15点
・ 県内高校コーディネーターのネットワークの構築に係る実施方法や継続的な運用について、効果的かつ具体的な提案があるか。	15点
(3) コーディネーター養成研修の実施（仕様書6（3））	15点
・ 県内高校コーディネーターや教職員、自治体関係者等に対して実施するコーディネーター養成研修会に係る実施方法や内容について、効果的かつ具体的な提案があるか。	15点
(4) 重点推進校及び推進校に対する支援業務（仕様書6（4）（5））	15点
・ 各校の特色や課題に応じた具体的な支援方策等や自治体への情報提供について、効果的かつ具体的な提案があるか。	15点
(5) 県教育委員会に対する助言・業務報告・情報提供等（仕様書6（6）（8））	10点
・ 県教育委員会へ事業に係る助言、高校コーディネーターに関するデータベースの作成並びにネットワーク構築の進捗や各校に対する支援状況の報告及び他地域の事例やデータ調査等で得られた情報の提供等について、効果的かつ具体的な提案がなされているか。	10点
(6) 他の県立高校等への情報提供の機会（仕様書6（7））	10点
・ 各校の支援等を通して得られた魅力化・特色化に関する情報を県内の他の県立高等学校等へ提供する機会について、効果的かつ具体的な提案がなされているか。	10点
2 実現性	10点
・ 提案業務を適切かつ確実に実施できる能力（実施体制、人材等）を有しているか。また、情報セキュリティ対策はなされているか。	5点
・ 他の自治体で同趣旨の業務の受託実績はあるか。	5点
3 経済性	10点
・ 仕様書の内容が盛り込まれ、適切な価格になっているか。	10点
	100点